

ゆりはま 議会だより

Vol. 78

令和5年8月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



湯梨浜町議会
ホームページはこちら



- プレミアム付商品券発行 2
- 新議長・副議長・委員会構成 8
- 行政、議会に対するご意見、ご提案 9
- 一般質問 10

「産後に親子でリラックスタイム」
(ゆりはま子育てネットワークくぷくぷ)
☆裏表紙にインタビューあり

令和5年6月定例会

一般会計補正予算

1億181万円を
追加し

総額

104億2509万円

令和5年6月定例会は、6月9日から20日まで開催されました。
今定例会に提案された令和5年度一般会計補正予算などの議案を慎重に審議し、提案された19議案すべて、原案のとおり可決及び同意しました。
また、議員発議による国に提出する意見書5件を原案どおり可決しました。

補正予算

地域経済の活性化と町民生活を支援

・物価高騰対策商品券発行事業

4700万円

エネルギー価格や物価が高騰し町民の生活や経済活動に大きな影響を与えている。

町内の消費を喚起し、地域経済の活性化と町民の生活を支援するため、プレミアム付き商品券発行事業を業務委託する費用を計上する。



商品券の応募受付開始

プレミアム付き商品券は、1万円分で1万2500円分の利用が可能。

未熟児の入院治療を援助

・未熟児養育医療給付事業

1506万円

未熟児は病気にかかりやすく、生後速やかに適切な医療処置が必要である。入院治療に必要な医療費の一部を公費負担する。対象者数が増えたため、増額する。

目立ち始めた各
こども園設備の
老朽化

・こども園整備事業

461万円

とつごうこども園の
エコキュート更新工
費が想定以上の物価
高騰により増額補正。
園児が健やかに安全
に過ごせる良好な環
境を提供する。

今年も25%プレミアム付商品券発行

温泉保養施設を 修繕し、入居募 集へ

・温泉保養施設管理臨
時経費

334万円

龍鳳閣の前にある町
多目的温泉保養施設レ
ストランが経年劣化し
ているため、施設修繕
を行う。また施設周辺
の植栽を整備する。修
繕の内容は、①雨樋取
り替え②厨房から出る

油分を分離するグリス
トラップ更新③新規入
居前のクリーニング。

物価高騰に対応

・光熱費助成事業

5525万円

原油高・物価高騰が
生活困窮世帯の生活に
深刻な影響を与えるこ
とが予想されるため、
光熱費の助成を行う。
生活困窮世帯、住民

税非課税世帯に対し、
一世帯340000円の
光熱費を助成する。

農業者の負担を 軽減

・スマート農業促進事業

152万円

スマート農業を実践
するため、防除用ド
ローン、無人防除車を
導入する。事業対象者
は、認定農業者、集落
営農組織。補助率は
1/2以内。
なお、当初要求の無
人草刈り機は取り下げ
となった。

ボーリング・名義 変更の手続き

・跡地利用検討事業

57万円

中学校跡地利用に
向けた手続きを進める
ため、旧北浜中エリア
では跡地のボーリング
調査の経費を追加し、
旧東郷中エリアでは跡

地の名義変更に係る弁
護士費用を追加する。

行政情報の発信 をLINEでも

・情報化推進臨時経費

121万円

LINEを活用した
行政情報発信システム
を導入し、効率的な情
報発信と住民の利便性
向上を図るもの。
行政からの情報発信
だけでなく、住民個人
の求める情報に自動で
応答するなどの機能も
検討する。
(関連記事は4ページ)

その他

いそなぎ団地 完売

湯梨浜土地開発公社
により現況について報
告を受けた。



いそなぎ
完売した磯坪団地

令和4年度に磯坪団
地1区画売却となり、
年度末の残区画は、橋
津団地1区画470
㎡、磯坪団地1区画
252㎡となった。
なお、磯坪団地は、
令和5年5月に残る1
区画も売却済みとな
り、完売となった。

農業委員会委員 の任命に同意

新たに任命された12
名の農業委員会委員
に対して同意を求めら
れた。

任期は令和8年7月
19日までの3年間。認
定農業者、非農業者な
どの職業的なバランス
の他に、性別、地域な
ども考慮して選ばれて
おり、同意した。

泊中央線災害復旧工事 ようやく着工

☆国との協議がほぼ終わり、10月に着工し、6年度末完
成予定。

国の補助2／3・町災害復旧債1／3、総工費
3億9千万円。

問 今回の工法は、以
前の工法とあまり変
わらないのでは。

答 前回と違う点は、
鋼管杭を27本打ち、
滑りをとめていること、横
ボーリングで中の排水がで
きること。

問 工事業者に、地元建設
業者は入らないのか。

答 工事の内容等を踏ま
え、検討したい。

問 今回の地滑りは山の南
側だが、以前は漁港側に
もあったのでは。



泊中央線復旧工事着工へ

答 過去にはあった。地滑
りの可能性を住民に周知
したい。

マイナポータルでの 確認を周知

☆マイナンバーカードの申
請・交付状況は、4月末時
点で申請が1万4446
件、率として86.8%。交付
状況は、1万2287件、
73.8%の交付率となってい
る。

問 全国的には、マイナン
バーカードのトラブルが
相次いでいるが、本町の状況
は。

答 現時点で、人的ミス
によるトラブルはない。
職員の立ち合いで、利用後のロ
グアウトについて徹底するよ
う、再度指示をした。

問 マイナ保険証などの誤
情報の確認は、実際に
カードを使用しないとわからな
いのか。

答 誤情報の確認は、役場
ではできない。マイナ
ポータルでの確認について周知
したい。

LINEで双方向に 情報発信

☆LINEの「アカウン
ト」サービスを導入する。
住民個人が求める情報に効
率的に回答する情報発信シ
ステムを活用し、デジタル
社会を推進する。

問 住民が、このLINE
を使うことによって、具
体的にどのようなことができ
るのか。



県のLINE公式アカウント

答 友達登録し、年齢層や
居住地、欲しい情報などの
設定を行えば、登録者に必要な情
報を発信していくことができる。

問 道路の不具合の通報な
ど、町民側からの情報提
供は、可能なのか。

答 LINEによる町道の
通報システムが利用でき
るように取り組みを進めている。

問 県のLINE公式ア
カウントでは、積極的に
発信されている。そういったプッ
シユ型の発信は町でも可能か。

答 可能。良い情報をリ
アルタイムで発信したい。

令和5年度湯梨浜町教育要覧の報告

☆令和3年度に策定した教育大綱と第3次教育振興基本計画の重点目標とその目標を実現するため、教育要覧にまとめ、実施している。主な変更点が説明された。

問 中部地区中学校部活動の、休日地域移行に向けた取り組みの現状は。

中部地区中学校部活動の、休日地域移行に向けた取り組みの現状は。社会教育の合同で協議。県教育委員会とも、随時協議しながら進めている。

部活動指導員、外部指導者の確保が課題となっている。

答 1市4町の教育委員会、学校教育と

問 義務教育としての英語教育について、具体的の方針は。

答 県教育委員会の方針として、中学校卒業時に英検3級程度まで取れるよう打ち出した。補助など支援をすると言っているので、本町もその方針に乗っていききたい。

小中学校の連携や、英語専科教員での授業研究に取り組みたい。

問 教員の働き方の現状は。

答 県の平均より長く働いている。留守番電話の設置、閉庁日の設定、アンケート調査など、できることに取り組んでいる。

ゆりはまヘルシーラブの効果分析

☆自治体連携S・I・Bヘルスプロジェクト(ゆりはまヘルシーラブ)による医療費・介護給付費の抑制効果分析について報告を受けた。

問 プロジェクト参加者の年齢構成は。

答 他の自治体に比べ、80歳以上の比率が少なく、若い世代が多いのが特徴。

問 コロナの影響はどうか。

答 影響はあると思うが、運動の習慣化により成果が出ているので、町民に周知していきたい。

問 会員すべてのデータが集まっているのか。

答 令和4年度の実績で86.8%の会員がデータ送信をしている。

たじりこども園建設工事、早期着工へ

☆実施設計と地質調査の委託契約を令和4年12月に締結。進捗状況の報告を受けた。

問 建設位置について関係区への説明は。

答 12月中旬に田後区と長瀬西部区で説明会を開催。

問 田後区内の建設であり、丁寧な説明が必要では。

答 令和5年1月8日の田後区総会で、町長から概要の説明を行い、反対意見はなかった。

問 開園のスケジュールは。

答 令和7年4月を目標にしているが、建設資材の高騰など今後の動向で不透明な状況がある。実施設計を早め、一日でも早く工事着工にかかりたい。



外部指導者のもと、活発に行われている部活動
(湯梨浜中学校 女子バスケットボール部)

5月臨時会を開催

一般会計補正予算

1億1528万円 を追加

☆5月臨時会は、5月8日に1日の会期で開催されました。

専決処分2議案、補正予算1議案の計3議案が提案され、いずれも原案のとおり承認及び可決しました。

補正予算

電力・ガスなど
価格高騰を支援

・電力・ガス食料品等
価格高騰緊急支援給
付金支給事業
5152万円

住民税非課税世帯に対し、電力、ガス、食料品などの価格高騰の影響を緩和するため、一世帯3万円の現金を支給するもの。財源は国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」。

行政区を支援

・コミュニティ助成事業
1270万円

一般財団法人自治総合センターが実施する事業を活用し、①引地区は除雪機等②上浅津区はエアコン等③下浅津区は除雪機等④久留西区は複合機等の整備⑤門田区は公民館外壁の改修を行う。

補助率は①から④は10/10、⑤は3/5以内。

ハワイゆ〜たうんの修繕

・温泉ふれあい会館施設整備費
867万円

町立温泉ふれあい会館「ハワイゆ〜たうん」の経年劣化に伴う施設修繕として、プロ



来館者の増加を目指して（ハワイゆ〜たうん）

フーポンプ更新工事と屋上防水材修繕工事が必要となった。

同会館の適切な管理を行うことで、来館者の満足度の向上や来館者の増加をはかる。

低所得子育て世帯に経済的支援

・低所得の子育て世帯への生活支援特別給付金事業

①ひとり親世帯
1260万円

②①以外の低所得の子育て世帯
1106万円

食費などの物価高騰に直面し、影響を受ける低所得の子育て世帯に対して経済的支援を行う。給付額は児童一人当たり5万円。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策

・新型コロナウイルスワクチン予防接種事業
1333万円

国の方針により接種期間が6年3月まで延長。重症化リスクが高い者を対象とした「令和5年春開始接種」を実施する経費。全ての年齢を対象とした「令和5年秋開始接種」の準備経費を含んだ増額経費である。

梨作り生産活動の支援

・農地耕作条件改善事業
334万円

北福・漆原梨園地造成につき、工事着手から5年間は、地権者との入植者との賃貸借契約が発生しないため、その間の賃貸上の損失を補填する。使用期間の標準的な賃借料相当分を補償するもの。

請 願 ・ 陳 情 審 査

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

陳 情

件 名	陳情者名	採決結果
「安保関連 3 文書」閣議決定の撤回、「敵基地攻撃能力」の保有や防衛費 2 倍化に反対する意見書の提出を求める陳情書	憲法改悪反対 鳥取県共同センター 代表 田中 暁	不 採 択
安保関連 3 文書の閣議決定に抗議し、大軍拡・大増税の中止、くらしと福祉に予算をまわすよう求める「意見書」採択を求める陳情	平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会 (鳥取県革新懇) 代表世話人 山内 淳子	不 採 択
政府に食料自給率の向上、持続可能な農業経営と農村を守ることを求める陳情書	鳥取県農民運動連合会 会長 雑賀 敏之	採 択 全会一致 (国に意見書を送付)
森林環境譲与税の譲与基準の見直しに関する陳情	鳥取県中部森林組会 代表理事組合長 小川 克彦	採 択 全会一致 (国に意見書を送付)
国に対し、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める陳情書	インボイス制度を考える フリーランスの会 代表 阿部 伸	不 採 択
地方財政の充実・強化を求める陳情	・自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 ・湯梨浜町職員労働組合 執行委員長 中村 武史	採 択 全会一致 (国に意見書を送付)
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	・鳥取県高等学校教職員組合 中部支部支部長 谷口 善一郎 ・鳥取県教職員組合中部支部 支部長 山根 義孝	採 択 全会一致 (国に意見書を送付)
一日も早く選択的夫婦別姓の導入をするよう政府に求める陳情	新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子	採 択 全会一致 (国に意見書を送付)

ファクシミリ・電子メールでの提出も受け付けます！

請願、陳情の提出時に本人確認ができる書類を提出いただける場合は、ファクシミリ・電子メールでの提出が可能です。本人確認書類や記載内容、提出先など手続きに関することは町ホームページをご確認いただくか湯梨浜町議会事務局へお問い合わせください。



新議長・副議長 と委員会構成



新議長
河田 洋一



新副議長
磯江 公博

総務産業常任委員会（6人）

委員長 松岡 昭博
副委員長 信原 和裕
委員 中森圭二郎
濱中 武仁
寺地 章行
磯江 公博



<担当の仕事>

総務課、まちづくり企画課、
出納室、町民生活課（税務
関係）、産業振興課、建設水
道課、デジタル・みらい戦略
課、国民宿舎に関すること

教育民生常任委員会（5人）

委員長 米田 強美
副委員長 増井 久美
委員 光井 哲治
小川 遊
河田 洋一



<担当の仕事>

町民生活課（税務関係を除く）、子育て支援課、健康推
進課、長寿福祉課（地域包
括支援センター）、総合福祉
課、教育委員会に関すること

議会広報常任委員会（10人）

委員長 中森圭二郎
副委員長 小川 遊
委員 米田 強美 濱中 武仁
光井 哲治 寺地 章行
増井 久美 信原 和裕
松岡 昭博 磯江 公博



<担当の仕事>

議会だよりの編集、広報の
実施に関すること

議会運営委員会（5人）

委員長 濱中 武仁
副委員長 寺地 章行
委員 松岡 昭博
米田 強美
中森圭二郎



<担当の仕事>

議会運営全般について協議
し、意見調整をはかる

オブザーバーとして
河田洋一議長、磯江公博副議長

◆議会選出監査委員

◆鳥取中部ふるさと広域連合議会

◆鳥取県後期高齢者医療広域連合議会

議員 光井 哲治

議員 河田 洋一

議員 河田 洋一

議員 磯江 公博

住民から寄せられた令和4年度 「行政、議会に対するご意見、ご提案」について

令和3年度と同様に「令和4年度住民と議会の意見交換会」は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止といたしました。

意見交換会の開催時に依頼しました、町内の各団体、区長、PTAや保護者会などの関係の方に「行政、議会に対するご意見、ご提案」をいただきました。

いただいた提言やご意見の内容を取りまとめ、所管委員会において協議を行い、行政の担当部局等の返答を含め、一部を回答します。

希望するこども園に入園できない

問 本町では、保育士不足で希望するこども園での保育サービスが受けられない状況があるのでは。

答 保育士確保のため、人材派遣サービスの活用などの保育士確保対策を検討します。

保育士の配置

問 保育士不足にもかかわらず、ある園では、年長に3人のクラス担任がいる。なぜか。

答 保育士は、園児の人数に応じて配置するのが原則です。なお、個別支援の必要がある場合、増員されることがあります。

保育士の待遇改善

問 多子世帯保育料軽減事業などのお金を、保育士の待遇改善に回すことが必要ではないか。

答 多子世帯保育料軽減事業は少子化対策のために実施しています。職員の職場環境の改善も必要なことであり、引き続いて努力します。

紙おむつ処理と白ごはん提供

問 園で使用済み紙おむつ処理や白ごはん提供をしていただきたい。

答 紙おむつについては、本年4月から各園で回収しています。また、白ごはん提供は、保育士の増員が必要であることや、新型コロナの対応があるため、現状では困難です。

子育て環境・教育支援の充実

問 子どもを産み育てやすい環境の整備と、子育て、教育の支援体制を更に充実していただきたい。

答 子育て家庭の相談体制と経済的な支援の充実を図っていきます。また、教師の指導力向上による児童生徒の学力向上と、親世代の相談体制の更なる充実に努めていきます。

少数派の家庭に配慮を

問 令和4年度からICTで諸連絡がされるようになったが、スマホがないと保育サービスに支障が出るというのでは困る。

答 スマホを持っていない保護者には、電話や紙などで対応しています。

町政を問う

6月定例会では、6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

質問者	質問事項	ページ
光井 哲治	ながせこども園の施設整備を早急に	10
松岡 昭博	コロナ禍からの経済の復興と住民生活の回復を 保育士の人手不足解消を	11
中森圭二郎	「算数セット」など補助教材の備品化を こども・若者の「居場所づくり」の実践を	12
増井 久美	給付型奨学金制度を作って保育士確保を 住宅リフォーム助成制度の拡充を	13
米田 強美	本町の地域計画の策定状況は 認知症予防のために、難聴対策を	14
信原 和裕	人命か、規則か 何のための交通ルールか 老朽化した町道・橋等の改修計画は	15

ながせこども園の 施設整備を早急に

町長

優先順位をつけて対応



みつ い 哲治
光井 哲治



テープで補修された
保育室フロア

【光井】5年度予算で整備事業費に計上はなく、早急な修繕改修の必要な

今後定期的な施設点検を実施し、良好な施設維持に努めていく。

【町長】ながせこども園は、町社会福祉協議会に運営を委託していて、施設の修繕や備品購入に関する事項をルール化している。

【光井】経年劣化で内外修繕改修、機器備品更新をどう判断しているか。

☆ながせこども園は、公設民営で移転開園して年数がかなり経過し、経年劣化が目立つ。要旨2点を中心に問う。

箇所はなかったのか。ここ数年、関係者から話を聞いてきたが、4年度は、1ヶ所の修理、5年度は予算ゼロである。現場確認したが、早急な改修が必要と判断できる箇所がかなりある。町長の所見は。

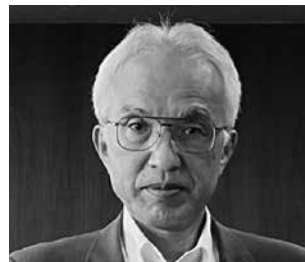
【町長】当初予算要求では、施設の修繕、備品購入など、各園からの要望を聞き取りし、現地を確認したうえ、優先順位をつけて対応している。

町社会福祉協議会と情報交換ができる連携体制が不足している状況もあった。今後は、十分配慮し、健全な園運営に努めていきたい。

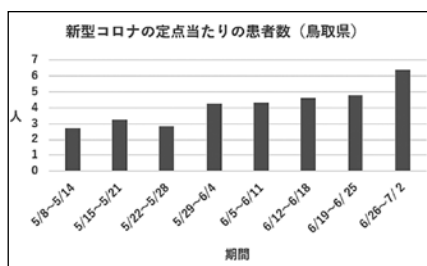
コロナ禍からの経済の復興と住民生活の回復を

町長

関係機関と連携を図りながら進める



まつおか 松岡
あきひろ 昭博



新型コロナウイルスの発生状況

☆新型コロナウイルスの法的な位置付けが、5類に変わってから1ヶ月以上経過し、社会の状況は変化している。

一方、新規感染者数は上昇傾向にある。現状を踏まえ、町の対応について問う。

【松岡】新型コロナウイルスに対する危機管理をどのように考え、感染拡大防止対策をどのように実施しているか。

【町長】重症化リスクのある人への感染は、注意が必要。防災無線等で対応を周知。高齢者や基礎疾患のある人は8月末までワクチン接種が無料。ぜひ接種してほしい。

【松岡】温泉宿泊客数を回復軌道に乗せるため、どう対応するのか。

【町長】恵まれた環境などを活かしたワーケーションを積極的推進。東京では地元特産品を活用したイベントを計画。インバウンド増に向け鳥取県中部観光推進機構と協調し取り組む。

【松岡】生活保護者の推移状況から、新型コロナウイルスの影響を、どのように考えているか。

【町長】本町では、感染症の影響を直接の原因とする生活保護申請は、これまでない。定額給付や特例貸付などの効果があったと推測する。

保育士の人手不足解消を

町長

今後も人材確保に尽力する

☆国は、異次元の少子化対策の試案を示した。保育士の確保については、慢性的な人手不足となっており、いかに改善していくかという課題は残る。

【松岡】本町の保育士不足の原因をどのように考え、解消対策をどう実施してきたのか。

【町長】精神的・肉体的な負担が大きく、就職希望者の減少、早期離職へと悪循環が発生している。対策として町独自の採用試験、就職氷河期世代の特別枠、人材派遣事業所と連携、再任用職員の園長就任に伴う賃金の改善などに取り組んできた。今後、ICT機器の

有効活用、県制度の活用も検討する。

【松岡】町の奨学金支援助成金について、保育士確保の効果を、どう評価しているのか。

【教育長】保育士は民間1名の交付。これまで以上に幅広く周知していく。

【松岡】こども園の労働環境改善プロジェクトの進捗状況を伺う。そして、プロジェクトの改善対策を園の評価の対象にしてはどうか。

【町長】現場の声を聴きながら労働環境改善に、積極的取り組みている。園評価とは別実施を検討。



園庭で遊ぶ園児
(とうごうこども園)

「算数セット」など 補助教材の備品化を

教育長

備品化は考えていない



なかもり けいじろう
中森 圭二郎



使う期間が短い
高額!!
一部備品化や再利用が
進む学校の補助教材

☆個人所有の補助教材には高価なものがあり、子育て世帯の負担となる。また使わなくなった補助教材はゴミとなってしまふ。そこで、補助教材を個人所有にする必要があるか精査する必要があると考えている。

【中森】使用頻度が低い場合、算数セットの備品化、一部備品化を検討できないか。
【教育長】「算数セット」使用頻度は高く、個人の道具で十分に活用しており、備品化は考えていない。

【中森】算数セットは小学校でどれぐらいの使用頻度か。どの学年まで使用しているのか。

【中森】その他、鍵盤ハーモニカ、書道セットも一部備品化できないか。
【教育長】鍵盤ハーモニカは1年から6年まで授業等で使用。使用状況、衛生上の観点から個人所有が適切である。教材によつては中学・高校までのケースもあり備品化することは現状では適切ではない。

【教育長】3年生までの下学年では、学年に応じた算数セットを補助教材で使用して「数学的見方・考え方」の土台を身に付ける。1年生は、週4時間、2年生以上は5時間が定められ、大切な役割がある。

【中森】「こどもが意見表明する場の提供」や「遊びや文化的活動の機会提供」という児童館の活動を、公民館や図書館で実践できないか。具体的には、ボードゲームなどの遊び道具の貸し出し、こどもが施設に来やすい環境を作れないか。

【教育長】本町では、新しい居場所設置をめざすのではなく、公民館、児童館、体育施設など公共施設が居場所になりうる施設だと考えている。

町長

こども・若者の 「居場所づくり」の実践を

若者会議での意見を反映させたい

☆国の報告書では、こども・若者の声を適切に反映させる仕組みや居場所を担う人材の不足が挙げられている。

公民館ではさまざまな工夫をされ参加しやすい場所づくりに努力されている。図書館、体育施設でも同様であり、さらに来やすい環境づくりを目指す。

【町長】居場所づくりは、課題の複雑化、複合化、価値観の多様化など社会の変化を踏まえる必要がある。若者会議で、コーディネーター人材を含め若者から意見を聴き施策に反映させていきたい。

【中森】町内でも若者の声を受け止める人材は少ない。行政が居場所づく

りを目指す。若者会議で、コーディネーター人材を含め若者から意見を聴き施策に反映させていきたい。



カードゲームで遊ぶこどもたち
(中央図書館)

給付型奨学金制度を作って 保育士確保を

町長

本町への採用を前提とした 奨学金制度は困難



ますい 久美
増井 久美

【増井】令和5年度に人材派遣会社から保育士を受け入れるとのことでは算化している。その後の状況はどうなっているか。

【町長】保育士人材派遣事業者により募集を開始している。登録のある保育士有資格者に対し、町内子ども園への勤務について照会中である。個人の事情により勤務が難しいなど派遣に至っていない。

【増井】町には「ふるさと人材育成奨学金支援助成金制度」があるが、これまでにこの制度を利用した人は何人いるのか。

【教育長】平成28年度に制度を創設して以降、特定の業種の4名の方に交付決定。

【増井】町の保育士として採用され何年かを町で働くことを条件に、町として給付型奨学金制度を作れないか。

【町長】職員採用では、資格試験を行い、公平に募集する。学生入學時に、本町の採用を前提として、給付型奨学金制度を作るのは困難と思う。保育従事者支援への補助金の創設を考えてみたい。



楽しい給食を待つ子どもたち
(たじりこども園)

住宅リフォーム

助成制度の拡充を

町長

空き家改修補助事業など 活用してほしい

【増井】2015年に「空き家対策特別措置法」が施行され、本年改正された。

空き家は当町でも毎年増加し、特定空き家等もあり、指導もしている。

空き家管理者にも住宅リフォーム助成制度や家財道具運搬の補助も利用できるようにしてはどうか。空き家バンク登録につなげ、1件でも空き家を減らすよう努力をすべきである。

【町長】町では、空き家の有効活用や適正管理という観点で、所有者が空き家を活用するための改修費用など、一部助成する制度を設けている。

リフォームする場合の費用助成では、空き家改修補助事業と、空き家利活用流通促進事業の2事業がある。

空き家情報バンクに登録の上で移住者を受け入れる場合、あるいは空き家取得後間もない人が、何かに活用する場合に費用を助成する。空き家の中に荷物が残っている場合の処分費も、対象になる。

空き家バンクに登録する件数を増やそうと3人の地域おこし協力隊が取り組んでいる。



空き家の相談窓口
(総合相談センター どれみ)

本町の地域計画の策定状況は

町長

モデル地区を作り、策定に向け協議している



よねだ つよみ
米田 強美



多面的機能支払交付金で、
少しずつ整備が進む農道
(写真の手前側)

【米田】本年4月に法律の一部が改正され、市町村が地域計画（旧「人・農地プラン」）を策定。農業委員会による「目標地図」の素案作成が求められた。策定状況と、農地の受け手不足の対策を問う。

【町長】旧「人・農地プラン」は令和4年度末時点で17地区で策定。23地区は未実施。

新しい地域計画については、モデル地区を作り、策定に向け協議している。

【米田】農業機械の大型化が進む中で、農道の整備が重要だと考える。

アスファルト舗装の推進について問う。

【町長】農道は原則、利用者が管理するもの。町はアスファルト舗装を進める立場にない。町や県・国の整備支援事業があるので、農道の関係者は町に相談してほしい。

【米田】宅地造成等により水田の暗渠が詰まり機能しなくなる事例があるが、対策を問う。

【町長】造成した転用事業者が復旧を行うものと想定。原則は、当事者間の損害賠償の問題。トラブルになった場合は、農業委員会へ相談してほしい。

認知症予防のために、

難聴対策を

町長

補聴器購入の補助対象年齢引き下げを今後検討

【米田】難聴は、英国の医学雑誌に掲載された、予防可能な認知機能低下の危険因子の筆頭。その他、幼少期の教育・喫煙・抑うつ・運動不足・高血圧・社会的孤立・肥満・糖尿病が挙げられている。難聴の対策として、早めに聴覚機能の低下に気づき、適切に対応する必要があるが、町長の所見を問う。

【米田】認知症対策として、補聴器購入補助は有効だと考える。軽度の難聴に対応するには、補助対象年齢を40歳以上としてはどうか。

【町長】本町の助成対象は、原則中等度難聴。ただ、医師が補聴器の必要

性を認めた場合、軽度難聴の方も助成対象としている。

中等度難聴は高齢になると発症リスクが上がる。現時点では、対象年齢を40歳まで引き下げることが考えていないが、今後検討したい。

【町長】町としては、認知症の啓発活動として、町報で特集を組み、認知症の症状や認知症の人とのかかわり方などを取りあげた。事業としては、認知症サポート養成講座や予防教室を開催している。



補聴器の装着が、認知機能の低下を抑制できる研究報告がある
(イメージ写真)

人命か、規則か 何のための交通ルールか

教育長

生徒への交通安全指導と歩道の整備を推進



のぶはら 信原 かずひろ 和裕

☆昨年末、羽合小学校横の歩道で、自転車通学の中学生が警官に交通規則違反で指導された。次の事を確認し、要望したい。

【信原】中学生は幅員3メートル未満の歩道の通行で指導されたが、車道通行で中学生の安全は守れるのか。

【教育長】中学生の通学時の安全確保が第一である。生徒への交通安全指導、おもいやりロードのような譲り合いを促すソフト的な活動と、ハード的な整備の推進など町と連携を密にしながら交通安全対策強化を行っていく。



179号線東西歩道は2.2mと1.5mで、共に自転車通行、可。羽合小隣は、2.5mでも不可。

【信原】町内には3メートル未満の歩道でも自転車通行している場合がある。それとの関係は。

【町長】自転車と歩行者に通行には3メートルの幅員が必要である。国や県に対しても歩道の新設や拡幅を要望していく。

【信原】今年4月からヘルメット着用が努力義務となったが、購入時の一部補助制度はできないか。

【町長】ヘルメットは自分自身を守るものと認識して自分で購入してほしい。

老朽化した町道・橋等の

改修計画は

町長

「長寿命化修繕計画」に

基づき行う

☆戦後に集中的に作られた町道や橋が、劣化・耐用年数切れと未曾有の風水害に晒されている。それらへの対策は。

【信原】18〜76億円にもなる町道等の改修費用の調達方法・国や県との関係は。

【町長】「長寿命化修繕計画」に基づき毎年必要な額を国に要求している。また活用できる起債の中で有利なものを活用している。

【信原】災害復旧や生活環境維持・改善以外の旧羽合・泊・東郷の特徴を生かした将来展望・整備計画は。

【町長】過疎対策事業債など有利な起債を最大限活用し、総合計画を進める。

【信原】道等の実態把握や補修・災害復旧・計画的整備等には専門的な知識と技能を備えた職員が必要だが、人材の確保は。

【町長】橋梁については、5年ごとに建設コンサルタント会社に委託し点検を実施している。

令和4年度から会計年度任用職員1名と、担当職員で業務にあたっている。担当職員は研修会に参加したり、県の職員からも専門的知識・技能を見習っている。



拡幅・防災工事が望まれる
石脇^{すい}隧道

町民インタビュー



「ママとパパが頼れる場所になれば」

ゆりはま子育てネットワークくぐくぐ 事業部長 山増 香里 さん（橋津）

今回の町民インタビューのテーマは、「子育て環境」。湯梨浜で産後の不調やワンオペ育児に悩む人たちを支援している、ゆりはま子育てネットワークくぐくぐの山増さんに議会だより編集担当がインタビューしました。

ゆりはま子育てネットワークくぐくぐを始めたいきっかけは？
橋津地区公民館で、橋津地区の子育てサークル「おはな」に参加したのがきっかけです。休日二人で子どもと過ごすことが多かったので、助かりました。SNSでその様子をシェアしたら、橋津以外の地域の人にも興味を示してくださり、同じ想いを持った方々とくぐくぐを始めました。

今日、取材した活動「くぐくぐママ」では、赤ちゃんはスタッフに見守られ、お母さんはハンドマッサーを受け、とてもリラックスできていました。

今回、5組の親子が集まってくれました。育児の合間に、リラックスできる場所を求め、安全に子どもを見守ってくれる人がいる場所が大事だと感じます。

親子でリラックスできる場所づくりのことはありますが、ママがポツンと一人になつていないかなど全体を見渡すようにしています。

みんなで一緒にという感じでなくても、お一人一人がここにきてよかったと思ってくれたりするように声をかけたり皆さんとお話をするように意識しています。

最後に、湯梨浜の子育て環境がどう変わっていけばよいと思いますか。

暑い日や雨の日に子どもが遊べる場所が増えたり、病児保育が使いやすくなったり



してほしいですね。

あと子育てを一人で抱えこむのではなく、「人に頼ってもいいんだよ」と思える環境ができるといいですね。私たちくぐくぐもママとパパが頼れる居場所になればと思います。

【問い合わせ】
070-5670-1388
（桑体屋 山増）

議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

次回の定例会は

9月8日(金)～
午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは町ホームページへ。

編集後記

本年5月より、議会内では正副議長や各常任委員会の構成が新たなものとなりました。新たな委員会構成は、本誌内に掲載しておりますのでご覧いただけますと幸いです。

ゆりはま議会だよりは、議員全員が所属する議会広報常任委員会編集を行なっています。議会広報も新たな委員会構成のもとで、より読んでいただきやすく、内容も充実させていけるよう努めてまいります。

今号では、町民の方へのインタビューと表紙とを連動させる試みしております。今後は、紙媒体の良さをデジタルで補強していくような試みにもチャレンジして参りたいと考えています。

（記 小川）

【編集】

議会広報常任委員会